

# 竹水鉄砲合戦



## ご案内

**竹水鉄砲合戦を体験してみたい方がみえましたら気軽にお問合せください。**

### 小学校の先生方へ

竹水鉄砲合戦の授業を行います。子供達が自分で竹で作ったものを使って、運動場で競技をします。近隣であれば道具を持って出張します。

### P T A や子ども会の父兄の方へ

竹水鉄砲を親子で作って、それを使って競技をします。会場があって、近隣であれば道具を持って出張します。

### 企業の方や学生の方へ

従業員や仲間とのイベントとして楽しんでください。会場があって、近隣であれば道具を持って出張します。

### イベント関係の方へ

道具をお貸しすることもできます。催し物としてご利用ください。

### 旅行業者の方へ

ツアーの中の体験ものとしてご利用ください。

### その他の方 (特に若者)

兎に角興味を持たれた方はご一報下さい。

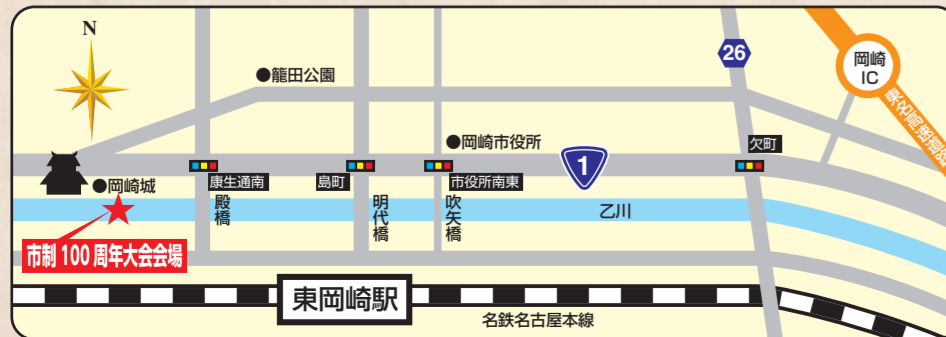
## 竹水鉄砲合戦実行委員会

**実行委員も常時募集中!**

〒444-0044

愛知県岡崎市康生通南3丁目2番地2 2 1ビル3 F (MS A 2 2 1内)

TEL:090-7856-1005 (担当: 浅見) Email:takemizuteppe@gmail.com



## はじめに

日本古来より生活や遊びの中の様々な所で活用されている竹はだんだん消費されなくなっており、竹林の拡大は今後大きな環境問題となる可能性を秘めています。竹の消費をするにはどうしたらいいだろうか。どうすれば人々は竹に価値を見出すのだろうか。そんなことを考えて平成 18 年に考案したのが『竹水鉄砲合戦』です。平成 19 年から大会を8月・9月で開催しています。都合により平成 24 年・25 年と開催できませんでしたが、平成 26 年には再開をして7回を数えます。何もないところからのスタートでしたがこの10年間で多くの方に知っていただけたと思います。

私の育った旧額田町の山あいの小さな岡崎市立形埜小学校が会場で「全国大会」として開催しております。「全国大会」とはいうものの大会の参加チームは地元岡崎が中心となっており、まだまだ発展途上だと思いますが、発祥の地での大会は意義あるものだと思います。

最初に始めた時に私の故郷である岡崎市に全国から選手が集っていただけで 47 都道府県プラス岡崎の 48 チームによる大会が開催できればと思っておりました。今もこの目標は変わってはおりませんが、簡単にできるものだとは思っていません。ですが、7 回の大会での選手や学校の授業での子供達の楽しくも真剣な眼差しを思えば多くの方に賛同していただけるものではないかと感じております。尚、平成 27 年度より小学生の大会も開催しており、今後は続けながら中学生、高校生、学生の大会の企画ができればいいと考えております。

## どうして『竹水鉄砲合戦』をはじめたのか。(環境編)

まずは、環境面についてですが、日本人の生活になくはならなかった竹ですが、今ではその製品の大半がプラスチック等の石油の加工製品で賄われています。そうする事で竹は使われなくなり、竹藪は管理されなくなってしまい荒廃していきました。以前は、杉や桧の造林地帯と竹藪はちゃんと区別をしてあったはずですが、竹は根で生殖範囲を広めていき杉と桧と一緒に山の中で生えています。この事は果たしてよいことでしょうか？私はこのようなことの専門ではありませんが自分の考えとしては、杉や桧の造林地帯は木の成長とともに間伐をする必要があります。間引くことで地面に日が当たり植物が生えてきて地山を安定させます。それに、残った木にも日が当たり成長を促します。それを踏まえれば杉や桧と並んで生える竹は不要な物となります。このような状態を起こさないために竹の消費する方法をずっと考えていました。竹とんぼや竹馬等の昔ながらの遊びもありますが、それでは多くの需要を望めません。やはりスポーツとして使用することが一番だと考えました。

①

このままにしておく・・・

色タイインターネットで調べてみると、竹が増えている事に対して危機感を持っているところがありますが、決定的な打開策を持っているところは今のところ無いと思われるので、行政は杉や桧の間伐に補助金を出すように竹の駆除に補助金を出す事業を設けています。

そんなことでお金を使うなら・・・

竹を駆除するのにお金を使うなら『竹水鉄砲合戦』の道具を竹で考えて竹の商品を開発した方がどれだけ前向きではないでしょうか。競技規則上も竹で使えるものは竹で考えています。このスポーツが盛んになれば世の人々は今まで見向きもしなかった竹に注目するはずで、邪魔物が資源へと変わります。竹藪の所有者も竹に価値があればちゃんと管理するようになるはずで、

色々な竹を使います。

この競技は、色々な竹を使うように考えてあります。竹水鉄砲は、筒は真竹で柄は女竹。的は真竹。それに竹垣は真竹や孟宗を使用します。

最後は竹炭です。

道具として使用できなくなった竹は炭として活用します。その炭焼きは年配の方が中心なので世代を超えた交流にもなります。



竹 藪



造林地帯に増殖した竹

## どうして『竹水鉄砲合戦』をはじめたのか。(教育編)

竹水鉄砲を作る作業は竹を伐るところから始まります。竹の生態や竹藪の環境を学ぶのは教育です。次に竹水鉄砲を作ることは小学校でいえば図工の勉強です。どうして水が出るかを考えれば理科の勉強です。競技をすることで体育の勉強になります。そして、戦略を考えることは人生の勉強であり道徳でしょうか。これだけではありません。竹水鉄砲作りはどちらかといえば昔の遊びです。私達の親父達が最も得意とすることです。作る技術の子供達は祖父ちゃん達に学ぶことで三世代の交流になります。親子で参加する事は沢山ありますが、三世代と一緒にできることはなかなかないものですね。

②

いじめ対策の一つの手段として

『獣性』って知っていますか？

人間は大なり小なり『獣性』（獣類のもつ性質。2 人間のもつ、肉体的欲望などの動物的な性質。また、人間の凶暴・残忍な一面。）を持っており、これを上手くコントロールしたり解消することが出来ない人はいじめに走ったり乱暴になったりします。そんなことを解消するためには非常に『竹水鉄砲合戦』はいいものだと思います。人を攻撃する欲求を満たす事もできますし、撃たれた方は別に痛くはないし、かえって気持ちいいと思えます。この人間のもって生まれたどうしようもない部分やいじめの特効薬になるのではないかと期待しています。

ストレス解消の手段として

ユニバーサルスタジオジャパンとか東京ディズニーリゾート等の水に濡れるアトラクションが人気です。わざわざ濡れに行く人もいます。この気持ちは童心に返っておもいきり遊びたいと思う心があるのでしょうか。何も無いところで水に濡れていれば大人としてやっていられませんが、それがスポーツであるのなら何も躊躇うものは無いわけです。大人と子供が唯一真剣勝負が出来るスポーツでは？

子供と大人と一緒にスポーツをする時には大半は大人が手加減をしなければ成り立ちません。でも、これは世の中に数少ない真剣勝負が出来るスポーツだと思っています。



## どうして『竹水鉄砲合戦』をはじめたのか。(経済編)

その地域が発展するにはやはり交流人口を増やすことが一つの方法だと考えます。各地でイベントやお祭りが開催される要素として、来客による消費を期待しての事ではないでしょうか。岡崎市で本当の意味で『竹水鉄砲合戦』の全国大会を開催できたならかなりの経済効果になるはずで、岡崎って徳川家康の生まれた所として結構全国的に知られていると思いますが、全国大会のスポーツ大会って多分ありません。年に 1 回都道府県の予選を勝ち抜いたチームと岡崎代表のチームの合計 48 チームによる大会です。単純に 48

③

チームが岡崎に集まれば 48×10=480 です。土曜日日曜日で開催すれば食事や宿泊のために消費が生まれます。その観客による消費も期待できます。甘くは無いですけど全国に普及させ、それぞれの都道府県や市町村に支部が出来て、そこで予選会を開催できるくらい参加者が増えるといいですね。

環境や教育の所と関係がありますが、日本全国に所有者の無い土地は無いわけで、竹藪の所有者にしても必ず存在します。その竹を使うことで環境は改善に向かうと考えるのなら、小学校の活動に取り入れてもらうことはどうでしょうか。山間の学校なら直接山で伐って作ることも出来ませんが、それが無理なら製作キットを 300 円 / 組くらいで業者に製作してもらいます。全国でこれに取り組んだら結構な消費になりますよね。このまま山にあれば竹は邪魔物ですが、使えば資源です。剣道の道具の専門店があるように水鉄砲合戦の道具の店が必要になるくらい広まっていくといいですね。

税金を投入する時代です。

個人の山林の杉や桧の間伐をするのに補助金が出ているのを皆さんはご存知でしょうか？いつからこんな仕組みになったのかは知りませんが、森林所有者が自分からすすんで山の手入れをしないからこのような補助金を出す施策が成り立ちます。このまま放置しておけば山は荒廃して山崩れ等の災害を起こす可能性を拡大させますし水の保水力も低下する一方で、だから行政は補助をして所有者の負担を減らすようにしています。竹だって今は駆除をする費用を行政が考えなければいけなくなりました。財政が苦しいと言っていますが、同じ税金を使う方法なら皆さんはどちらがいいと思いますか？まず 1 つ目は竹水鉄砲の費用やその道具のために税金を使用する。もう 1 つ目は竹を駆除するために税金を使う。私の答えは言うまでもありませんね。



竹水鉄砲合戦実行委員会  
浅見 志貴雄

④

## 竹水鉄砲合戦とは



どんなものなの？

決められたルールの中で2チームの競技者が、竹の水鉄砲でヘルメットの上につけた金魚すくい等で使用される〈ポイ〉を撃ち合いながら、相手陣地的を撃ち合うスポーツです。

参加人数は？

1チームの構成は選手9人・監督1人です。ゲームに参加できる競技者は7人で、補欠2人です。

試合内容は？

たて 10m よこ 30mのコートの中に壁（竹垣）や、ボックスやバケツ等（給水ポイント）を設置して、〈ポイ〉を竹水鉄砲で水をかけて破いたら 1 ポイント、的を破いたら 7 ポイントとし、1セット 10 分の 3 セットで勝負を争います。前半の 5 分間は競技者で〈ポイ〉を撃ち合い、それで勝敗が決まらなければ的撃ちをします。先に 2 セットを先取した方が勝利とします。引き分け等がある場合は、ポイント合計により勝敗を決めます。(大会によって変更することがあります。)

竹水鉄砲ってなに？

竹により作られた水鉄砲です。外見が竹であれば市販品でも、自作品でも OK です。大きさについても制限はありません。大いに工夫をして自作して下さい。

格好は？

水に濡れてもよい格好です。ユニホームに背番号をつけたものも OK です。〈ポイ〉付のヘルメットと、メガネかゴーグルを付けます。

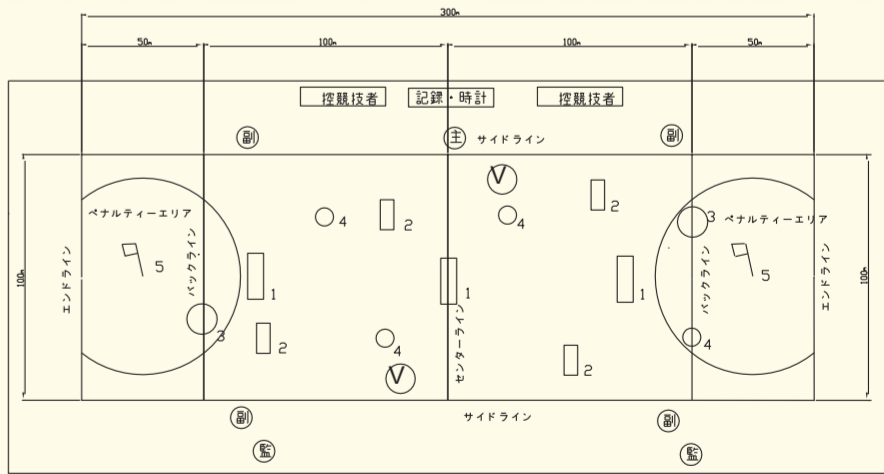
⑤

競技者はどんな人？

大人から子供まで競技に参加できます。竹水鉄砲を扱って、ルールを理解できれば誰でも OK です。世の中に色々なスポーツがありますが若者男女問わず大人から子どもまで同じ土俵で勝負できる数少ないスポーツだと思います。

ウォータードッジの意味は？

競技者は、ポイを撃たれたり反則をするとコートの外に出なくてははいけません。しかし、自コートのエンドラインとサイドラインの外からコート内の競技者の〈ポイ〉を破れば復活できます。ドッジボールのルールを参考に取り入れましたのでサブタイトルとしてウォータードッジと名付けました。



## 竹水鉄砲合戦関係のホームページ

竹水鉄砲合戦大会のホームページ

<http://takemizuteppegassen.jimdo.com/>

竹水鉄砲合戦協会のホームページ

<http://takemizuteppegassenkyokai.jimdo.com/>

竹水鉄砲合戦 2014 大会の模様 動画

[https://www.youtube.com/watch?v=j\\_hqJdxJUOU](https://www.youtube.com/watch?v=j_hqJdxJUOU)

竹水鉄砲を作ってあそぼう！動画（竹水鉄砲の作り方）

<https://www.youtube.com/watch?v=4q9jAbEGQ2I>

Facebook 竹水鉄砲合戦協会のホームページ

<https://www.facebook.com/pages/%E5%85%A8%E6%97%A5%E6%9C%AC%E7%AB%B9%E6%B0%B4%E9%89%84%E7%AE7%90%B2%E5%90%88%E6%88%A6%E>

⑥